

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2019年2週 (1月2週 1/7~1/13)

2018年12月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、麻疹・風しん、結核、感染症法施行規則の一部改正

◇病原体検出情報

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌感染症、RSウイルス感染症、水痘等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(17)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、エキノコックス症(1)、デング熱(1)、レジオネラ症(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)、急性脳炎(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(7)、水痘(入院例に限る。)(2)、梅毒(4)、百日咳(10)、麻疹(4)

◇2018年12月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
1月9日	衣浦東部	集団かぜの発生について (2018-2019 シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran18-19.pdf
1月10日	西尾、江南、新城、衣浦東部	
1月11日	一宮、江南、衣浦東部	

【参考ページ】

名古屋市: 集団かぜによる学級閉鎖等の状況 (1月15日更新)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0-0.html>

豊橋市: インフルエンザの流行状況 (1月11日更新)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/6893.htm>

岡崎市: インフルエンザ、集団かぜの発生状況 (1月15日更新)

<http://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1107/1146/p015469.html>

◆インフルエンザ【12月27日警報発令】(図)

2週の定点当たり報告数は75.38で、1999年から2018年までの最高値(2005年8週の64.07)を更新しました。1週9,052人→2週14,699人です。2018/2019シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09、AH3)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】「インフルエンザ警報」を発令します!(12月27日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/30influ-keihou.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

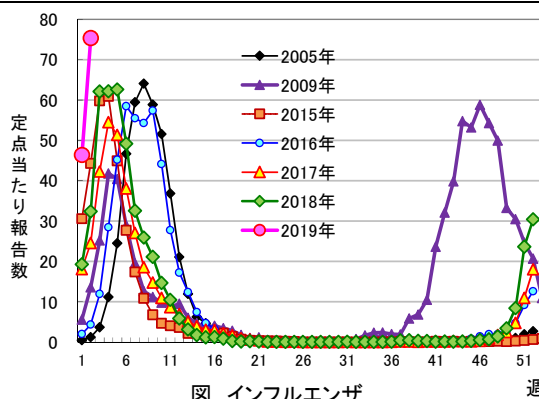


図 インフルエンザ

◆麻疹・風しん(1月16日現在、診断日集計)

愛知県では2019年に入り麻疹が7件報告されています。愛知県の2018年麻疹の報告数は37件、2017年総報告数は1件でした。全国の2019年1週(診断週)の報告数は8件、2018年の総報告数は282件です(2017年総報告数は189件)。

愛知県の2019年風しんの報告数は2件です。愛知県の2018年風しんの報告数は119件(うち8月9件、9月45件、10月34件、11月19件、12月9件)、2017年総報告数は3件でした。全国の2019年1週(診断週)の報告数は45件、2018年総報告数は2,917件です(2017年総報告数は93件)。

【参考ページ】麻疹(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/pressrelease-measles190116.html>

名古屋市: 市内における麻疹(はしか)の発生状況 <http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-4-3-9-0-0-0-0-0-0.html>

風しんの患者数の増加に伴う注意喚起について <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000061107.html>

本県における麻疹・風しん患者発生報告状況(2019) http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2019.html

疾患別ウイルス検出状況 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

◆結核

2018年の総報告数(診断週集計)は1月16日現在1,544件(うち無症状病原体保有者は413件)、2017年の総報告数は1,533件(同433件)でした。

◆感染症法(「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」)施行規則の一部改正について

改正の概要は下表のとおりです。2019年1月1日から変更になりました。

対象感染症	改正点
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	発生届に「診断時のCD4陽性Tリンパ球数(CD4値)」を記載項目として追加
梅毒	発生届に「妊娠の有無」等を記載項目として追加

【参考ページ】改正後の届出基準・届出様式等 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

感染症法に基づく医師の届出のお願い(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

病原体検出情報 —2018年疾患別ウイルス検出速報— (2019年1月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ		**麻しん・風しん
								2018/2019 シーズン	2017/2018 シーズン	
患者数	306	48	41	10	3	34	20	161	574	82(143)
CV-A2	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-
CV-A4	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
CV-A6	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	1	4	-	-	1	-	-	-	-
EV-71	1	7	-	-	-	1	-	-	-	-
CV-B1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(2)
CV-B2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
CV-B3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
CV-B4	5	1	1	-	-	1	-	-	-	3(3)
CV-B5	6	1	3	-	-	6	-	1	1	3(5)
CV-B6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
E-3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
E-6	-	-	-	-	-	1	-	-	3	2(0)
E-11	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1(0)
E-25	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
HRV	1	3	1	-	-	1	1	-	1	5(10)
HPeV-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0(1)
HPeV-3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	31	77	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	4	179	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	-	223	1(1)
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4 [#] (5)
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9(30 ^{\$})
Reo-2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	62	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV-1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-2	6	-	1	5	-	-	-	-	1	1(0)
Ad-3	-	-	-	3	1	-	-	-	-	1(0)
Ad-5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-31	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-NT [†]	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2(2)
検査中	111	16	12	1	0	11	9	121	2	11(16)
陰性	69	14	9	0	0	8	9	4	70	41(67)

*インフルエンザは2018/2019(2018年9月～)及び2017/2018シーズンの結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

#: ワクチン株1名 \$: ワクチン株1名 †NT: 未型別

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、
E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、
FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、
FluB(山形): 同(山形系統)、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、HPeV: ヒトパレコウイルス、HRV: ライノウイルス、
MeV: 麻しんウイルス、NV: ノロウイルス、Reo: レオウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風しんウイルス、
SV: サボウイルス

病原体検出情報 —2019年疾患別ウイルス検出速報— (2019年1月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ 2018/2019 シーズン	** 麻疹・風疹
患者数	2	0	0	0	0	1	1	161	0(11)
CV-B5	-	-	-	-	-	-	-	1	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	31	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	4	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	0(2)
検査中	2	0	0	0	0	1	1	121	0(9)
陰性	0	0	0	0	0	0	0	4	0(0)

*インフルエンザは2018/2019シーズン(2018年9月～)の結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略:ウイルス名

CV:コクサッキーウイルス(Cox.)、FluAH1pdm09:インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3:A香港型インフルエンザウイルス、

MeV:麻疹ウイルス、

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- インフルエンザ急増 71 名
B 型 1 人 A 型 67 人
(3 人は検査なしで判断)
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- インフルエンザ 13 名 全員 A 型
成人のアデノウイルス感染症あり
【一宮市 後藤小児科医院】
- インフルエンザ A 型 40 名に急増
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- インフルエンザ急増しています。
89 名すべて A 型
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- A 型インフル 54 例(一部に H3N2 含む、
H1N1 が中心)
RS 増えてきました。
溶連菌散発
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- インフル 103 名で、すべて A 型
溶連菌も 18 名で目立ちました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- インフルエンザ A 型 70 名
【犬山市 安藤クリニック】
- インフルエンザ A 80 名
【北名古屋市 田中クリニック】
- インフルエンザ 45 名 全て A 型です。
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザ A 型 69 名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】
- インフルエンザ A 型 74 名
インフルエンザ B 型 1 名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

- インフルエンザ A 型 83 名
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ A 型 32 名
学童、園児の感染が増加。
溶連菌も再び目立ってきました。
胃腸炎も多くみられます。
手足口病 1 例ありました (2 歳女)。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザ A 型 31 名
【長久手市 医療法人水野内科】
- インフルエンザ陽性報告 213 名(成人 141 名、
小児 72 名、A 型 212 名、B 型 1 名)
インフルエンザ A 型、いまだ増加中です。
やはり喘息児に肺炎を合併する例を散見します。
【春日井市 春日井市民病院】
- A 型インフル 67 例 全て A 型です。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザ急増、すべて A 型です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- インフルエンザ 男 19 名 女 23 名
インフルエンザ A 型が流行しています。
水痘もあり
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- インフルエンザ A 型 56 人
【半田市 林医科歯科医院】
- インフルエンザ A 型 138 人
感染性胃腸炎 12 人
【南知多町 医療法人大岩医院】
- インフルエンザ 51 人
すべて A 型
【半田市 ひいらぎこどもクリニック】
- インフルエンザ A 型 24 名
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- インフルエンザ多いです。全員 A
RS ウイルス感染症 1 名(11 か月)
アデノウイルス感染症 1 名(1 歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザは A 型のみ 54 名
【東海市 こいで内科医院】
- インフルエンザ A 型 227 名
インフルエンザ B 型 0 名
ノロ 2 名
【東海市 公立西知多総合病院】
- 咽頭結膜炎 1 名(16 歳女)
アデノウイルス性結膜炎がまだ散見されます。
【長久手市 医療法人スズムラ眼科医院】

西三河地区

- インフルA型 28名
臨床症状にてインフルエンザ 3歳男
RSV(+) 1か月男
StrepA(+) 11歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- インフルA型 61名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルA型 92名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
- インフルエンザ感染症多く、全てA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザ 全てA型
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザは全てA型です。
アデノ(+) 11歳男 1歳男
4歳女 サルモネラO7
【岡崎市 にいのみ小児科】
- インフルエンザ 合計42名 全てA型
【岡崎市 栗屋医院】
- インフルエンザA 79例(全例A型)
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザ全てA型
【岡崎市 医療法人糸洲医院ともキッズクリニック】
- インフルエンザA型 186名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- A型インフルエンザ流行中です。
【碧南市 永井小児クリニック】
- インフルエンザはすべてA型
【刈谷市 田和小児科医院】
- インフルエンザA型 239名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- 全てA型です。
【安城市 医療法人鳥居医院】
- インフルエンザA 92名
【知立市 宮谷クリニック】
- インフルエンザA型 174名
【西尾市 西尾市民病院】
- インフルエンザ急増(全てA型 93名)
【西尾市 山岸クリニック】
- アデノウイルス感染症 4歳女 10か月女
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

- インフルエンザA型 199件
【豊橋市 豊橋市民病院】
- インフルエンザA型 流行中
アデノ扁桃炎の児が時々います。
水痘の児が時々います。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザA型 124名
【豊橋市 医療法人山本内科】
- インフルエンザA型 81名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
- インフルエンザA型 47名
【豊橋市 おだかの医院】
- インフルエンザA型 176名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- インフルエンザA 143名
【豊川市 豊川市民病院】
- インフルエンザA型 77名
【豊川市 ささき小児科】
- A型インフルエンザ 87名
カンピロバクター 1名
アデノウイルス 4名(内プール熱 3名)
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2019年1月16日現在

一～三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準

● 結核（二類感染症）<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun190101.pdf>

報告保健所	2019年2週報告数			2019年総計(1～2週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	10	2	3	13	4	3
豊田市						
豊橋市	1			1		
岡崎市	1	1		2	1	
一宮						
瀬戸	1		1	1		1
半田	1			1		
春日井	1			1		
豊川	1			1		
津島	1			2	1	
西尾						
江南						
新城						
知多						
清須						
衣浦東部						
合計	17	3	4	22	6	4

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	21歳	女	12/27	12/31	1/7	O26、VT1(+)
2	名古屋市	27歳	女	-/-	12/27	1/7	O血清型不明、 VT1(+) VT2(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **エキノコックス症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	名古屋市	35歳	男	中華人民共和国

● **デング熱（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	衣浦東部	20歳	男	デング熱	ベトナム

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	岡崎市	77歳	男	肺炎型	国内
2	一宮	86歳	女	肺炎型	国内
3	春日井	57歳	男	肺炎型	国内

● **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	豊田市	79歳	男	医療器具関連感染	国内	無
2	春日井	68歳	女	不明	国内	無
3	江南	70歳	女	不明	国内	無

● **急性脳炎（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	4歳	男	インフルエンザウイルスA	国内
2	衣浦東部	8歳	女	病原体不明	不明

● **劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	名古屋市	69歳	男	国内

● **侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	95歳	男	不明	国内
2	江南	71歳	女	不明	国内

● **侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	72歳	女	不明	国内
2	名古屋市	81歳	女	不明	国内
3	名古屋市	66歳	男	無	国内
4	名古屋市	80歳	女	不明	国内
5	岡崎市	81歳	女	不明	国内
6	津島	1歳	男	不明	国内
7	江南	71歳	男	不明	国内

● **水痘（入院例に限る。）（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	72歳	男	不明	国内
2	江南	11歳	男	無	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	47歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	45歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	25歳	女	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	3歳	男	無	国内
2	名古屋市	8歳	女	不明	国内
3	名古屋市	45歳	女	不明	国内
4	名古屋市	17歳	女	有（追加接種有）	国内
5	名古屋市	14歳	男	無	流行有（学校）
6	豊橋市	7歳	女	有（追加接種有）	国内
7	豊橋市	16歳	女	有（追加接種有）	家族内感染
8	瀬戸	7歳	男	有（追加接種有）	国内
9	江南	6歳	男	有（追加接種有）	国内
10	衣浦東部	11歳	男	有（追加接種有）	国内

● 麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	21歳	男	無	国内
2	名古屋市	7歳	女	無	不明
3	一宮	15歳	女	無	国内
4	一宮	20歳	女	無	国内

2018年12月報

(2019年1月15日現在、診断週に基づく集計)

12月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2017～2018年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2018年12月			2018年 累計 ＜愛知県全体＞	2017年 総計 ＜愛知県全体＞
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	79 (23)	42 (6)	121 (29)	1,544 (413)	1,533 (433)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (0)	13 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	1 (0)	1 (0)	2 (0)	154 (46)	178 (42)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
四類 (44)	E型肝炎	1	0	1	6	6
	A型肝炎	0	0	0	35	17
	エキノкокクス症	0	1	1	1	1
	オウム病	0	0	0	0	3
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	1	1
	つつが虫病	0	0	0	2	4
	デング熱	1	0	1	22	23
	日本紅斑熱	0	0	0	1	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	2	1
	類鼻疽	0	0	0	1	0
	レジオネラ症	6	2	8	162	102
	レプトスピラ症	0	0	0	1	0
五類 (24)	アメーバ赤痢	1	2	3	45	57
	ウイルス性肝炎	0	1	1	7	10
	内訳 B型	0	1	1	6	9
	内訳 その他	0	0	0	1	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	8	4	12	156	117
	急性弛緩性麻痺** (急性灰白髄炎を除く。)	0	0	0	11	—
	急性脳炎	3	1	4	37	43
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	3	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	1	44	37
	後天性免疫不全症候群	1	7	8	96	72
	内訳 無症候性キャリア	1	5	6	70	40
	内訳 AIDS	0	2	2	23	29
	内訳 その他	0	0	0	3	3
	ジアルジア症	0	0	0	3	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1	3	33	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	4	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	25	10	35	211	208
	水痘 (入院例に限る。)	4	1	5	28	20
	梅毒	20	13	33	450	344
	内訳 無症候	7	9	16	122	108
	内訳 早期顕症	12	4	16	314	225
	内訳 晩期顕症	1	0	1	14	10
	内訳 先天梅毒	0	0	0	0	1
	播種性クリプトコックス症	0	1	1	17	12
	破傷風	0	0	0	5	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	2	0
	百日咳*	26	28	54	428	—
	風しん	5	4	9	119	3
	麻しん	0	0	0	37	1
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	1
	総 計	184	120	304	3,677	2,872

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症(全数把握)に追加されました。

** 2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2018年12月			2018年 累計		2017年 総計	
			愛知県 ＜名古屋市除く＞	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
							合計		合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	25	52	77	894	1,575	909	1,586
		女	35	22	57	681		677	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	11	15	26	242	578	223	536
		女	14	14	28	336		313	
	尖圭コンジローマ	男	4	9	13	217	322	211	307
		女	3	1	4	105		96	
	淋菌感染症	男	16	33	49	552	630	462	528
		女	5	3	8	78		66	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		96	3	99	984		1,001	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		10	0	10	120		154	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2		3	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2018年12月			2018年 累計	2017年 総計
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	3	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

2019年2週(2019年1月7日～2019年1月13日)

[illegible]

2019年2週(2019年1月7日～2019年1月13日)

愛知県衛生研究所

[illegible]